

🍷 八王子文芸研 2 月 基礎講座案内

1 月 27 日に行われました 1 月例会(第 67 回基礎講座・オンライン)は、田形智さん(東京文芸研 静岡県富士市小学校)の「お手がみ」(アーノルド・ローベル 作 教育出版 1 年)の教材分析・授業構想報告でした。「おかしいところがやさしいところ」というユーモア文芸としての教材の特質を生かした内容で、参加者から大好評でした。

今回も下記内容で完全オンラインで実施。参加希望の方は、小松小百合(世話人・八王子市立川口中学校)までメールで申し込んでください。

メールアドレス:waratte.everyday@gmail.com

🍷 日時: 2 月 22 日(水) 18:30~20:30

オンライン。18 時 15 分より入室可 / 参加費無料

🍷 内容: クランボンって何だ—「やまなし」

(宮沢賢治 光村図書 6 年)を読み解く 🍷🍷.。oO

賢治珠玉の短編「やまなし」の数ある謎—〈クランボン〉とは何か / なぜ〈二枚の青い幻燈〉なのか / 子蟹たちの会話の意味 / 〈谷川の底〉の意味 / くり返される〈光の波〉〈水の泡〉〈影〉〈波の青い火〉の形象 / 最後に出てくるだけなのに、なぜ題名が「やまなし」なのか…—数々の謎をはらむ難教材「やまなし」の世界を読み解きます。

🍷 講師: 上西信夫 (元千葉県小学校教員 文芸研*前委員長)

*文芸研(文芸教育研究協議会): 西郷竹彦が創設した国語科全領域(文芸・説明文・読書・作文)を研究対象とした民間国語教育団体。西郷文芸学と教育的認識論をベースに、全国に約 30 のサークルが例会活動を中心に国語の授業づくりに取り組んでいる / 今夏 7 月 29・30 日、山口市にて全国大会 / 機関誌「文芸教育」(新読書社 1500 円)を刊行。最新刊 128 号 特集「『協働的な学び』って何だ?」・近刊 129 号 特集「新学期のスタート! 国語の授業づくりで大切にしたいこと」 / 入門書として最適! 文芸研授業シリーズ「おおきなかぶ」「たぬきの糸車」「一つの花」「サーカスのライオン」ほか好評発売中(各 1000 円) / 文芸研の情報は文芸研ホームページから。「文芸研」で検索。